

# 2017年9月期第2四半期決算

---

2017年4月28日

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

---

## 1. 2017年9月期第2四半期決算

## 2. 2017年9月期業績予想

---

## 3. 中期成長に向けて

---

# 2017年9月期 第2四半期決算のまとめ

**売上高： 423.0億円 前年同期比 +1.0億円 (+0.3%)**

- 金融・カード向け売上増加も、一般産業向け売上減少により前同比横ばい

**経常利益： 35.4億円 前年同期比 △2.9億円 (△7.8%)**

- ITサービス (ITS) は増収を主因に増益
- シンクタンク・コンサル (TTC) は減収影響に加え、販管費増加により減益

**純利益： 21.8億円 前年同期比 △0.5億円 (△2.6%)**

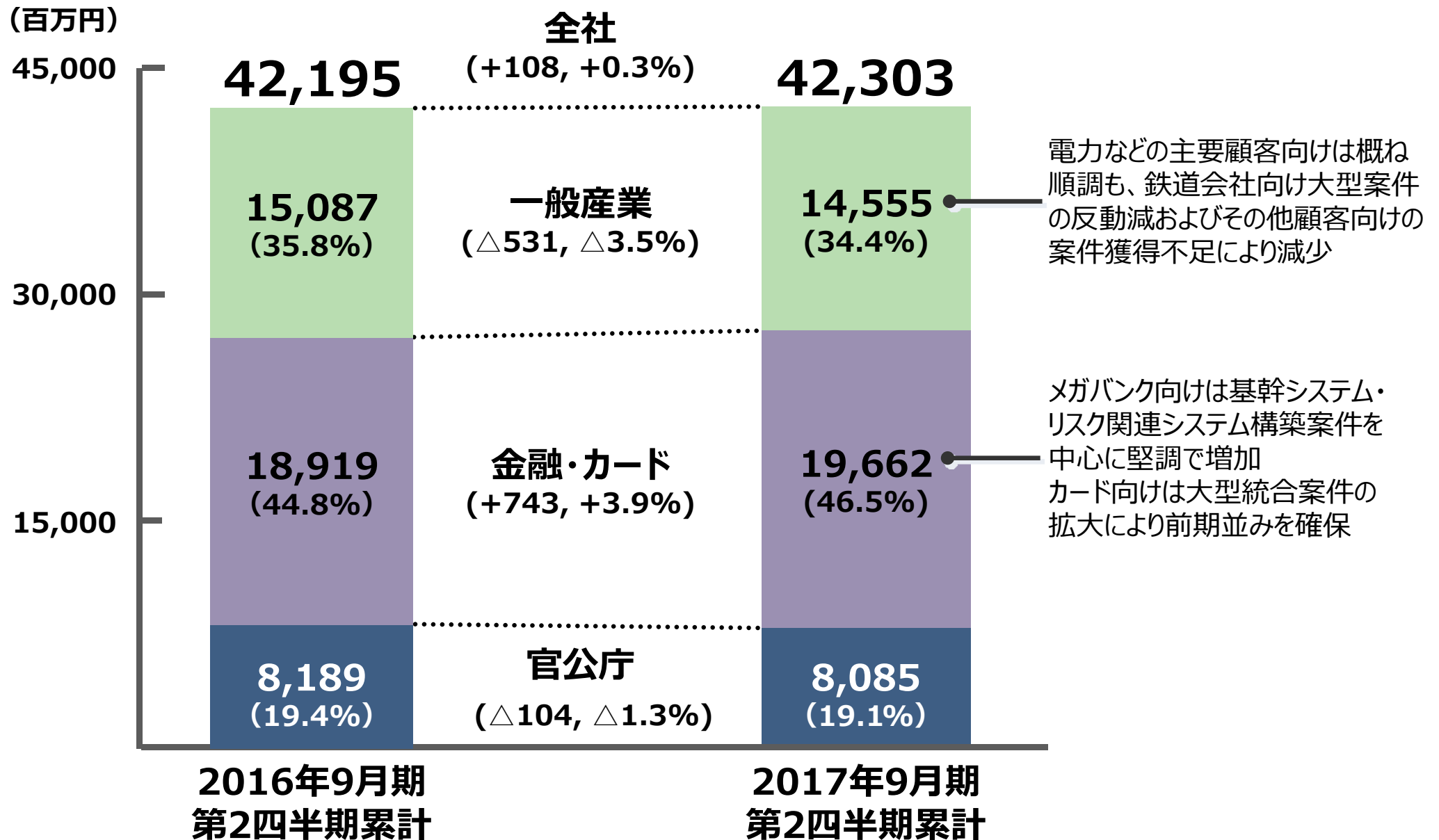
- 投資有価証券売却益が減少も、税金費用減少が寄与し、ほぼ前同期並み

# 第2四半期連結決算 <前年同期比>

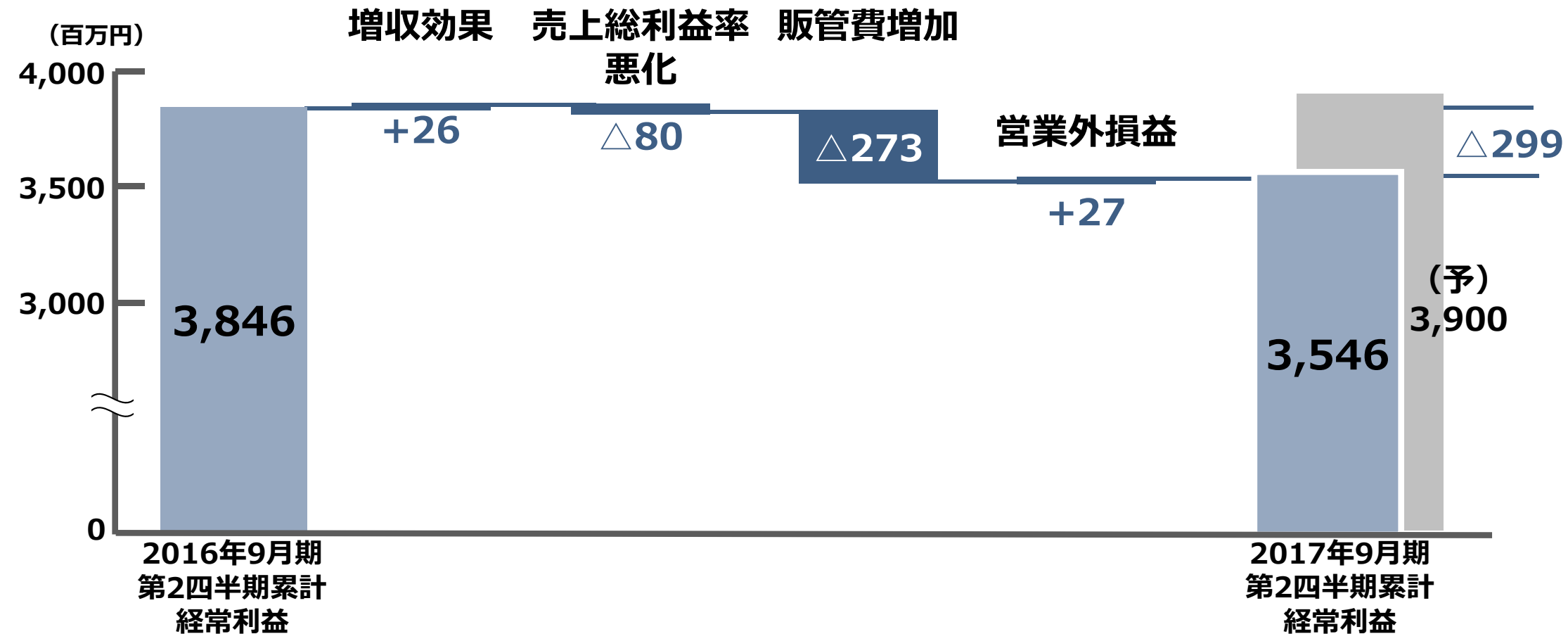
(百万円)

	16年9月期 2Q累計	17年9月期 2Q累計	前年同期比		公表予想 16/10/31	公表 予想比
			増減額	増減率		
売上高	42,195	42,303	+108	+0.3%	43,000	△696
売上総利益	10,323	10,269	△54	△0.5%	—	—
売上総利益率	24.5%	24.3%	△0.2P		—	—
販売費及び一般管理費	6,664	6,937	+273	+4.1%	—	—
営業利益	3,659	3,332	△327	△8.9%	3,720	△387
営業利益率	8.7%	7.9%	△0.8P		8.7%	△0.8P
経常利益	3,846	3,546	△299	△7.8%	3,900	△353
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,246	2,187	△58	△2.6%	2,300	△112
1株当たり四半期純利益 (円)	136.80	133.62	△3.18	△2.3%	140.04	△6.42

# 顧客業種別売上高 <前年同期比>



# 経常利益の変動要因 <前年同期比>



# シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2016年9月期 2Q累計	2017年9月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	14,917	13,994	△922	△6.2%
営業利益	1,818	1,238	△579	△31.9%
営業利益率	12.2%	8.8%	△3.4P	
経常利益	1,890	1,315	△574	△30.4%
受注高	18,407	17,218	△1,188	△6.5%
受注残高	26,465	27,369	+904	+3.4%

## 主なポイント

- 鉄道会社向け前期大型案件の反動減、金融機関向け案件のグループ内事業移管などにより、減収
- 営業機能強化・税制改正等に伴う販管費増加を事業拡大で吸収できず、大幅な減益
- 受注高は、上記の減収要因を含め、当期売上予定分の民間顧客案件が減少するとともに、来期売上予定分も官公庁の新年度案件の積上げが好調なもの、過去最高の前同期には及ばず、マイナス

# ITサービス (ITS)

(百万円)

	2016年9月期 2Q累計	2017年9月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	27,278	28,309	+1,030	+3.8%
営業利益	1,820	2,053	+232	+12.8%
営業利益率	6.7%	7.3%	+0.6P	
経常利益	1,925	2,177	+251	+13.0%
受注高	26,865	26,733	△132	△0.5%
受注残高	36,097	35,166	△931	△2.6%

## 主なポイント

- メガバンクを中心に金融機関向けが伸長し、増収。カード会社向けは前期並み
- 増収効果に加え、販管費抑制が寄与し、増益
- 受注高は、電力会社向け案件などが増加も、前1Qのカード基盤更改案件の反動減の影響で横ばい



---

1. 2017年9月期第2四半期決算

---

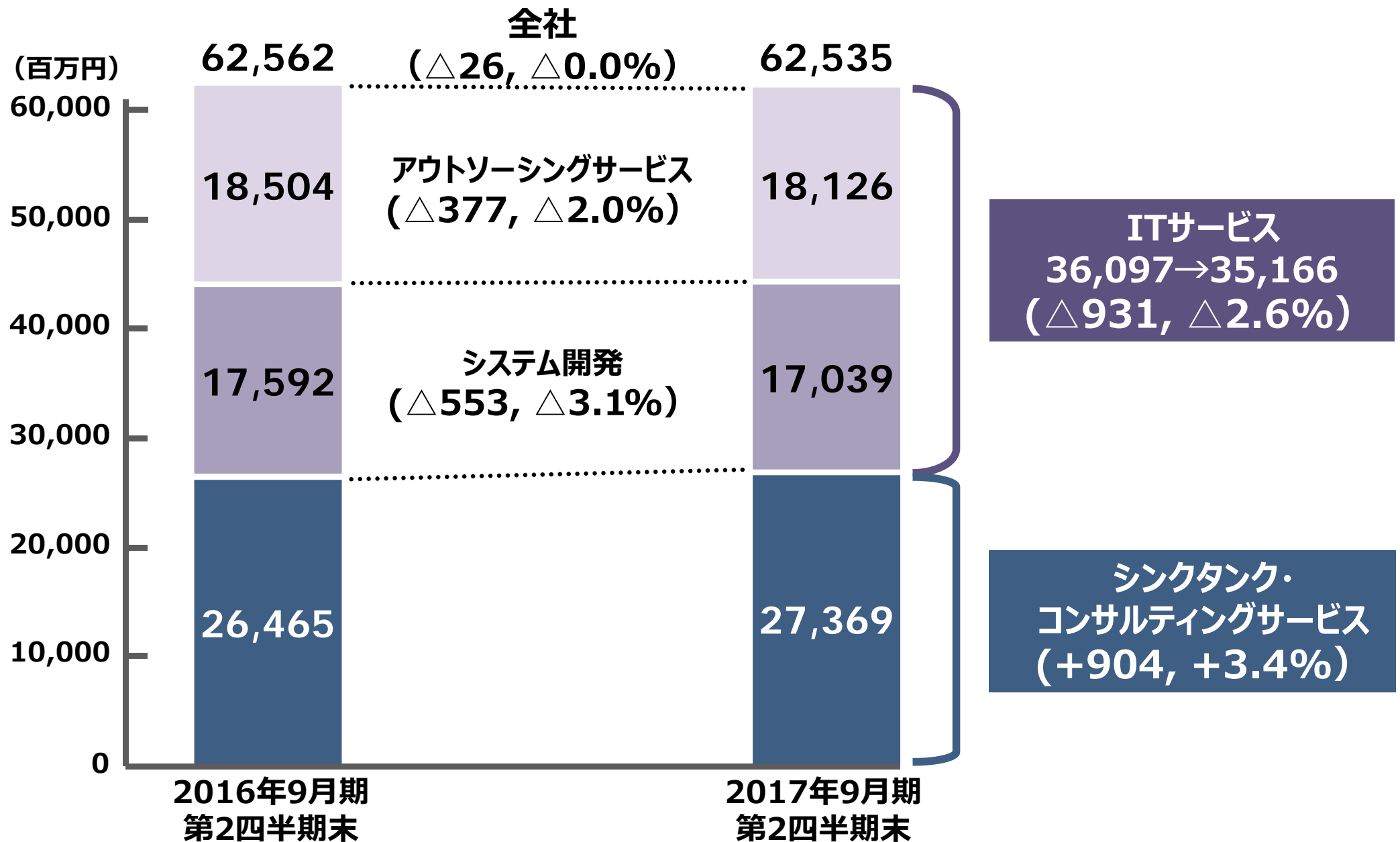
**2. 2017年9月期業績予想**

---

3. 中期成長に向けて

---

# 期末受注残高 <前年同期比>



# 2017年9月期 連結業績予想

前回(2016/10/31)予想から修正あり

上期実績・受注状況・見通しに鑑み、通期予想の利益を下方修正

売上高予想：900億円 前期比 +30.9億円 (+3.6%)

- 両セグメントとも期初予想を据え置き
- TTC：外部委託費の大きい案件の増加などにより、売上高は確保の見込み
- ITS：金融機関向け堅調も、カード統合案件の開発ピーク後倒しによる減少見込みを反映

経常利益予想：62億円 前期比 +3.2億円 (+5.5%)

- TTC：上期の進捗遅れを挽回し切れず、期初予想比 △5.0億円
- ITS：上期は上振れも、カード統合案件が想定を下回る見込みのため、期初予想を据え置き  
年金数理差異の影響は織り込んでいない（例年どおり、期末に確定）

当期純利益予想：36億円 前期比 +1.7億円 (+5.1%)

## 2017年9月期 連結業績予想

前回(2016/10/31)予想から修正あり

(百万円)

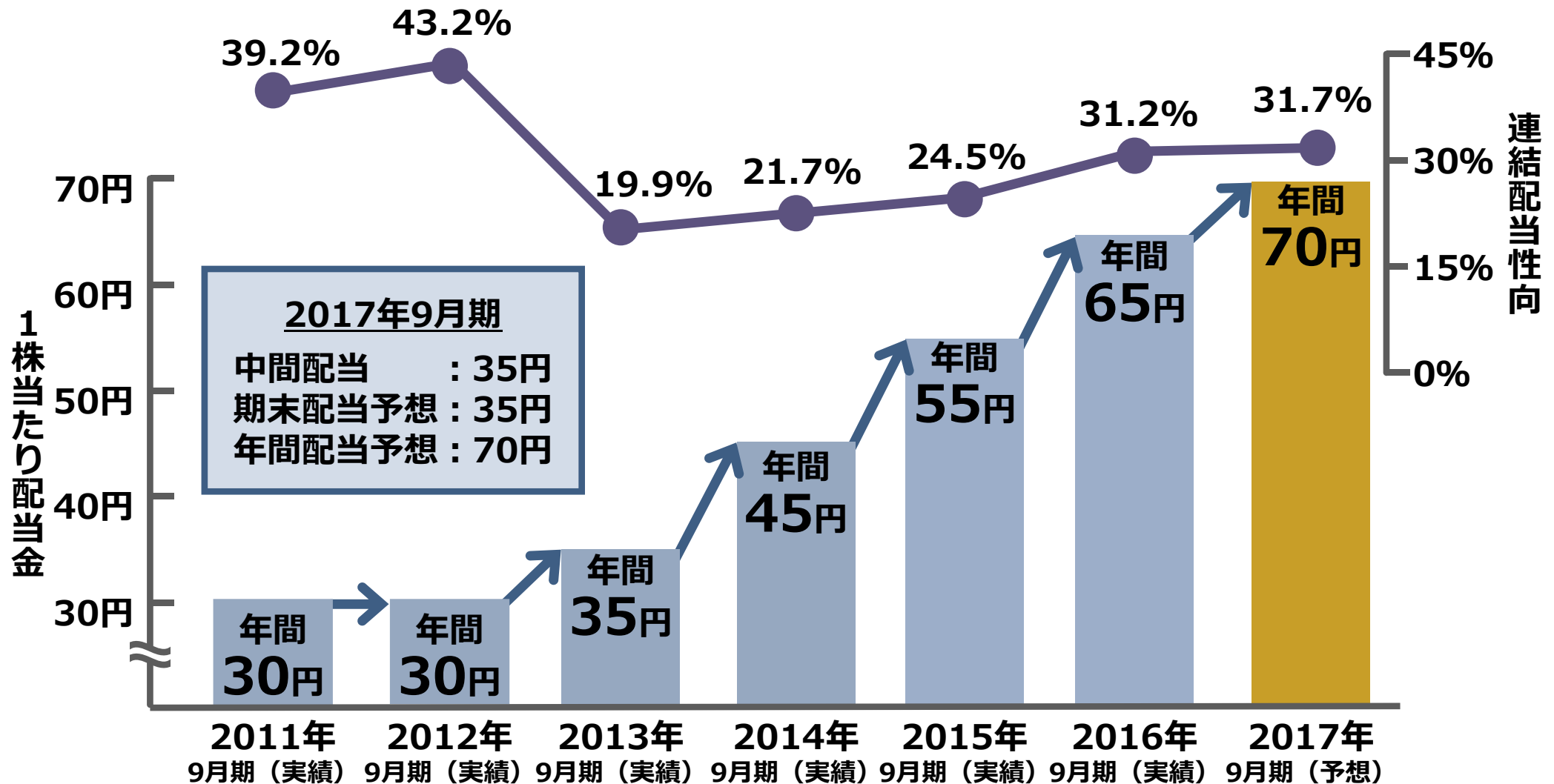
	16年9月期 実績	17年9月期 今回予想	前期比		前回予想 16/10/31	前回 予想比
			増減額	増減率		
売上高	86,904	90,000	+3,095	+3.6%	90,000	—
シンクタンク・コンサルティングサービス	33,014	34,000	+985	+3.0%	34,000	—
ITサービス	53,889	56,000	+2,110	+3.9%	56,000	—
営業利益	5,495	5,800	+304	+5.5%	6,300	△500
営業利益率	6.3%	6.4%	+0.1P		7.0%	△0.6P
経常利益	5,877	6,200	+322	+5.5%	6,700	△500
シンクタンク・コンサルティングサービス	2,875	2,400	△475	△16.5%	2,900	△500
ITサービス	2,931	3,800	+868	+29.6%	3,800	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,425	3,600	+174	+5.1%	3,900	△300
1株当たり当期純利益 (円)	208.55	220.73	+12.18	+5.8%	237.46	△16.73

# 2017年9月期 配当予想

前回(2016/10/31)予想から修正なし

## 配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す



1. 2017年9月期第2四半期決算

---

2. 2017年9月期業績予想

---

**3. 中期成長に向けて**

# 中期経営計画（6年の計）：3年目の主な取り組み

## 事業戦略

構想力 + 提言力の強化

現在の強みの伸長

新たな強みの追加

戦略的資本・業務提携

有望分野での展開を持続・拡大

- ウェルネス、社会ICTで大型実証を開拓
- クレジットカード向け大型統合案件の拡大
- メガバンクから証券・信託・電力等へ多面化

成長ポテンシャルを高度化

- 人工知能(AI)を活用した新サービス創出
- イノベーションに向け共創プラットフォーム形成

## 経営改善戦略

グループ内コラボレーション推進

人財育成・強化、ダイバーシティ

品質生産性向上、  
リスク管理・ガバナンス強化

- MRI/DCS連携による大型案件展開

持続的成長軌道へ先行投資

- 民間企業等へ企画・共創人財の派遣拡充
- 生産性高く多様な働き方推進(テレワーク)

# AI・IoTを活用した新サービス共創から社会実装まで

## 各領域におけるAI活用サービス創出と社会実装・Act事業との連結

分野	AI活用サービス例	社会実装・Act・実証事業例
農業×AI (Agri-Tech)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話型AIで家庭菜園アドバイス (カゴメと連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物工場</li> </ul>
医療・介護×AI・IoT (Med-Tech)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェアラブル端末活用で健康管理</li> <li>体内時計可視化で睡眠管理 (ベンチャーと連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病予防実証事業</li> <li>女性健康支援サービス</li> <li>介護ロボット実証事業</li> </ul>
人財採用・育成×AI (HR-Tech)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIでエントリーシート優先度診断 (マイナビ社と連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事給与BPO拡大</li> </ul>
金融×AI (Fin-Tech)	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIを活用した知財融資効率化</li> <li>AIを活用したリテール金融展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融窓口でのロボット活用</li> </ul>
自治体×AI・IoT (Gov-Tech)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話型AIで子育て支援 (川崎市・掛川市と連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体経営改革</li> <li>公文書電子アーカイブ</li> </ul>

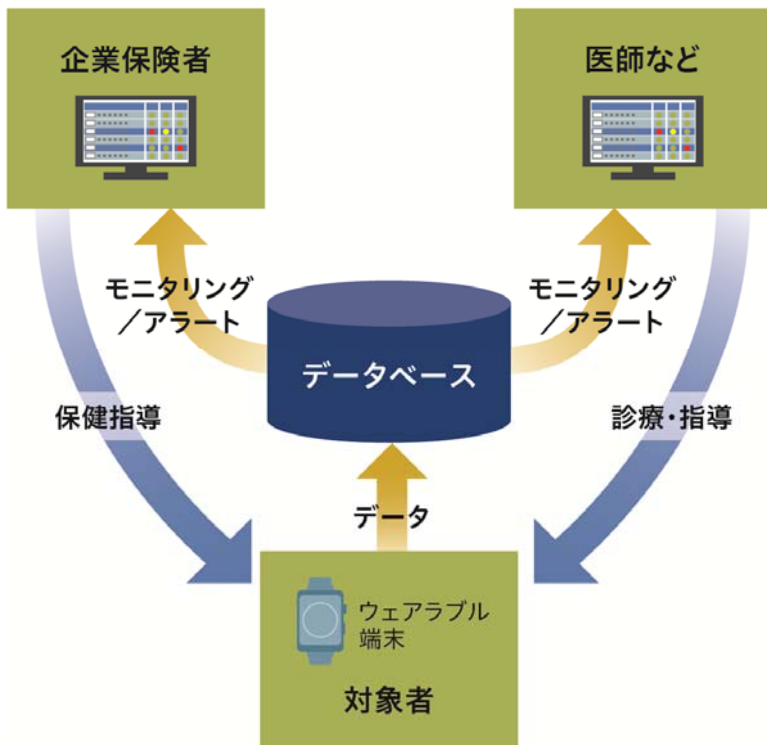


# ヘルスケア・ウェルネス分野：IoT・AI活用で実証・開発

## IoT・Big-Data活用、健康管理・介護予防サービスを実証・開発

- IoT+データ解析技術と併用、健康管理・介護予防の新サービス開発
- 業務・資本提携も活用（株）Moff：2013年10月設立のベンチャー企業）
- 国・地方の実証事業に積極参画、事業共創主導（糖尿病予防、介護ロボット等）

糖尿病予防対策の実証事業のイメージ



## オリジナル ウェアラブル端末 「Moff Band」



（出典：Moff社ホームページ <http://jp.moff.mobi>）

# 電力自由化分野：政策起点でコンサル・SI多面展開

## 政策改革全般

### シンクタンク

電力自由化・政策立案支援

エネルギー需給分析

政策起点  
多面展開

## 民間コンサルティング

### コンサルティング

新規参入・事業評価

リスクマネジメント

アセットマネジメント

電力先物市場対応

連携・橋渡し

MRI  
DCS

## 電力会社システム開発

### ITサービス

新料金計算システム

販売実績管理システム

新請求システム：発送電分離

## Think & Act

### Act事業

メガソーラー出資・ファンド

地域発電活用・地域創生



多可町安田郷メガソーラー発電所全景

# 未来共創イノベーションネットワーク（INCF）

“21世紀型課題解決モデル”として、オープンネットワークを4月設立

- オープンイノベーションのプラットフォーム、社会課題をビジネスで解決するエコシステム
- 民間企業46社、国・自治体8団体  
その他個人有識者を含む66会員が参画

6つのテーマ

ウェルネス

エネルギー  
・環境

水・食料

教育

防災

モビリティ

## ビジネスアイデアコンテストから事業共創へ（最終選考会の模様）

- 「ウェルネス」をテーマに、応募94件から最終選考対象5件に絞り込み
- 最優秀賞：腕時計型デバイスで体内時計可視化、睡眠の改善を図る
- エネルギー・環境、水・食料、教育、防災、モビリティのテーマでコンテスト順次企画



最終選考会でのプレゼンの様子



受賞者へのトロフィー授与

### 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

TEL : 03-6705-6001  
FAX : 03-5157-2171  
E-mail : ir-info@mri.co.jp  
URL : <http://www.mri.co.jp/>